

マラウイ通信



【Tailor】テイラーとは衣服の仕立て屋の事です。チテンジから製作した衣類を着用する事が一般的なマラウイでは、テイラーの需要も高く、どこの町の中心部にもテイラーが居ます。ミシンの多くは日本製の手動ミシン使っており、巧みな技術を感じさせます。一人前のテイラーになる為の特別な学校もあり、未来のテイラーがその技術を磨いております。

【トマト】マラウイの野菜たちはいつでも市場・道端に大量に並べられるのですが、その中でもチャンピオンはトマトでしょう。通年大量のトマトが出回っており、洗面器一杯で1000円ほどの価格で購入できます。実際に畑を見たことからはありませんが、一体どこからこんな大量のトマトが来ているのだろうかという疑問をもっています。味は日本の物よりも水っぽく薄いように感じますが、酸味も甘味も控えめですが、食べやすくとても美味しいです。そんな万能トマトを贅沢に使用できるので日々料理に大変重宝しております。



渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【ゴミ拾い】以前紹介した隣町にあるザレカ難民キャンプにてゴミ拾いを実施しました。と言うのもザレカで活動を行っているデンマークの団体に所属する韓国人青年の働きかけによるゴミ拾いだったのですが、現地のマラウイ人や難民キャンプで生活をしている人々など大勢が参加しました。個人的にもマラウイのゴミ問題には関心を持っており、少しでもアクションを起こしたいと思っていたところ、共通の知人を通して私も参加する事ができました。以前も紹介しましたが、マラウイではペットボトルやビニール袋を何の抵抗もなく道端に捨てられます。これはマナーが悪い人だけの行いではなく、学識のある大人でさえもゴミのポイ捨てを平気で行います。よって路上にはゴミが散乱しており、その光景を花が咲いている様に例える人もいるくらいです。今回は、ゴミ問題が人体に与える影響などを説明した後に全員でゴミを拾い、そのゴミでサッカーボールを作りました。私の職場である病院内でもゴミのポイ捨て問題は大きな課題の一つですが、マラウイ全体規模でこの問題に向き合い、良きアフリカが残っているこのマラウイを未来に繋げて欲しいと心から願っています。私の活動とは直接関係はありませんでしたが、日常的に様々な問題や課題に数多く直面します。自分に何ができるか分かりませんが、少しでも意識を向ける事で何かの役に立てればと思います。

【後記】マラウイは雨期に近づき、虫が大量発生する季節になってきました。去年よりは免疫がつかないと思いましたが、それでも出てくる虫は慣れることが出来ません。しかし、協力隊員の中にはゴキブリを素手で捕まえるような隊員や、ネズミや虫を平気で食べる人もおりません。アフリカでは虫を食べるイメージがあると思いますが、全員が食べる訳ではありません。残念ながら私にはそういった物を食べる事が出来ず紹介したいと思いません。

